

二子塚古墳について

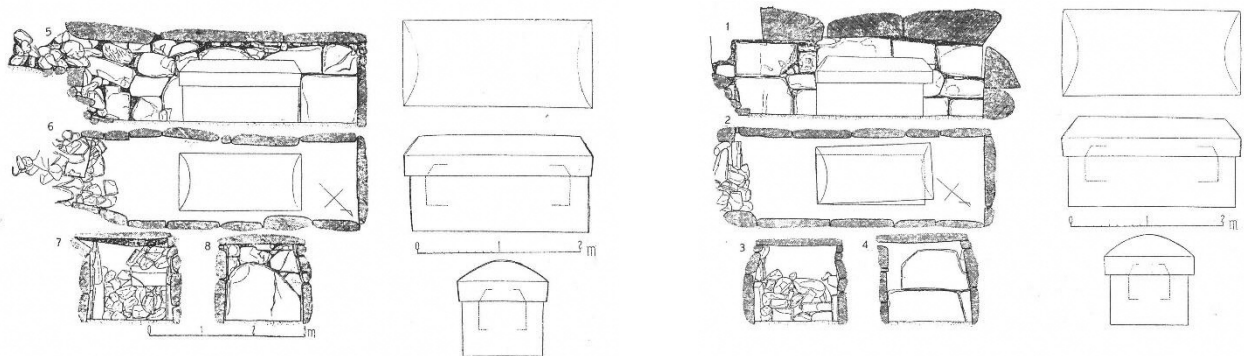
二子塚古墳は全国的にも珍しい双方墳で、東西に方墳が並んだ全長 70m の長方形の古墳です。東西の墳丘にまったく同じ形の石室と石棺があり、特に石棺の蓋は天井がカマボコ型をした珍しいもので、7世紀の中頃のものと考えられています。

当時、古墳は個人のお墓として作られるようになり、親子や兄弟など関わりの深い二人を同時に葬るために古墳を2つつなげたものと考えられます。

この時代では 70 m の古墳は最大級で、推古天皇陵のすぐ近くでもあることから、ここに葬られた2人は、天皇家とも関わりをもつ歴史に名を残した人物であったと推定されます。



昭和 40 年頃の二子塚古墳



西石室と石棺

東石室と石棺